

**公益財団法人日本バスケットボール協会**  
**平成25年度 第7回理事会 議事録**

**日 時:** 平成25年10月9日(水) 13:00~16:20

**場 所:** JBAオフィス 8F会議室

**出 席:** <理事>

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄副会長、星芳樹専務理事、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐古賢一、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、田窪徹、野村俊郎、原田茂、堀井幹也、水谷豊理事、吉田長寿の各理事

<監事>

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

<特任委員>

片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

**欠 席:** 麻生太郎会長、鈴木秀太、高橋雅弘、福井晴次、吉田利治の各理事

内山英司、小倉恭志、上島正光の各特任委員

**オブザーバー:** 山見博康(裁定委員会委員長)

**議 題**

- (1) 暴力行為等に関する裁定委員会の答申について
- (2) 強化関連について
- (3) 2014(平成26)年度 事業方針について
- (4) 2014(平成26)年度 競技日程について
- (5) 2014(平成26)年度 男女日本代表国際親善試合 開催要項および募集について
- (6) NBL/NBDL 2014—2015シーズン 大会要項について
- (7) 2014年度 バスケキッズフィスティブアル実施方法について
- (8) 国内有料競技会開催における納付金基準について
- (9) 大会要項について
- (10) 3x3日本選手権プレ大会の開催について
- (11) 報奨金の授与について

---

**1. 定足数の報告**

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(24名)の過半数の出席数(出席:19名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

---

**2. 挨拶**

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

---

### 3. 議事

議長は深津会長職務代行を務めた。

#### (1) 暴力行為等に関する裁定委員会の答申について（堀井理事・山見裁定委員会委員長）

九州産業大学男子バスケットボール部において監督から選手への暴力行為があったことが福岡県協会から報告され、裁定委員会での調査および審議の結果、答申として提出された懲罰案が原案通り承認された。＜処分対象者(九州産業大学男子バスケットボール監督)への処分内容は以下の通り＞

「2013年9月1日から2013年11月30日まで3ヶ月間のバスケットボール関連活動の停止・禁止。但し、2013年9月1日から理事会決定があるまで、処分対象者が自主的なバスケットボール関連活動の停止をしていることを条件とする。」

また、山見裁定委員会委員長からは、前回の桜宮高校の事案の際に、暴力行為等の禁止を徹底しきれていなかった組織の責任があること、当該コーチだけの問題にしないこと、再生のための裁定であることを前提として裁定を行ったが、その後このような事案が起きていることは大変残念であり、組織として暴力行為等を一掃する強い決意を今一度持ち、再度徹底すべきであるとの意見があった。

＜承認＞

#### (2) 強化関連について（星専務理事）

FIBA ASIA男子選手権大会の結果および前回理事会での佐古男子ナショナル委員長、鈴木強化統括部長の報告、さらに総括を踏まえ、また、2020年東京オリンピック開催が決まり、早急に2020年までの強化体制を構築する必要があることから、大会直後に表明されていた鈴木強化統括部長、佐古男子ナショナル委員長、鈴木ヘッドコーチの3名の辞意をこの理事会をもって受理したいとの提案があった。また、今後の体制については、副会長、専務理事、理事、男子ナショナル委員会メンバー、有識者から委員会を立ち上げ、座長を専務理事とし、年内を目途に次期体制等を検討していくこともあわせて提案され、承認された。

尚、辞任の時期については現在東アジア競技大会が開催中であることから、鈴木強化統括部長および佐古男子ナショナル委員長は東アジア競技大会終了をもってそれぞれの役職を辞任(理事職は継続)、また、鈴木ヘッドコーチは後任者が決定するまでとし、強化統括部長および男子ナショナル委員長の後任者が決まるまでは、専務理事がその職責を担うこととした。

＜承認＞

#### (3) 2014(平成26)年度 事業方針について（星専務理事）

2014(平成26)年度の事業計画および収支予算の策定にあたり、骨子となる事業方針が提案され、原案通り承認された。収支予算の考え方としては、2012年度の赤字分を解消すること、また、次年度は大きなルールの改定がなく今年度より販売収入の減が見込まれることから、今年度の修正予算の4%減を基本として作成すること、それを元に各部・委員会とのヒアリング、調整を行って重点事業への配分を行うこと、スケジュールとしては、11月22日までに各部・委員会の事業計画(案)、予算(案)をまとめ、その後ヒアリング等を実施し、2月の理事会、3月の評議員会に提案することとした。

＜承認＞

#### (4) 2014(平成26)年度 競技日程について（庄司理事）

2014(平成26)年度の各種全国大会、国際大会等の日程について、原案通り承認された。

<承認>

(5) 2014(平成26)年度 男女日本代表国際親善試合 開催要項および募集について (吉田(長)理事)

次年度の男女日本代表の国際親善試合の開催について、大会概要および開催地募集要項が提案され、原案通り承認された。尚、今年度の開催については、立候補もなくJBAの主催・主管にて男女同時開催としたが、全国各地で大会を開催できるよう開催権料300万円から150万円としたこと、また、近畿からは既に開催の希望が出ていることが補足された。

<承認>

(6) NBL/NBDL 2014-2015シーズン 大会要項について (丸尾副会長)

NBLおよびNBDLの2014-2015シーズンの大会要項が提案され、原案通り承認された。尚、NBLについては、1チーム増えてイースタンカンファレンス7チーム、ウェスタンカンファレンス6チームの編成となり、レギュラーシーズンの開幕は10月11日、プレーオフの最終日は2015年5月31日となることが補足された。

<承認>

(7) 2014年度バスケキッズフェスティバル実施方法について (吉田(長)理事)

昨年度よりバスケットボールの普及を目的として実施しているバスケキッズフェスティバルについて、2014年度はより地域に根差した活動を目指していくこと、またこれまでの反省も踏まえ、早い段階で都道府県・地域を含めて準備を進めていくことを前提とし、開催条件や開催地募集手順等が提案され、原案通り承認された。

また、バスケキッズフェスティバル以外にも、普及を図る方法として、学校に講師を派遣するスクール形式も検討して欲しいとの意見が出され、今後検討していくこととした。

<承認>

(8) 国内有料競技会開催における納付金基準について (堀井理事)

前回理事会より継続審議となっていた国内有料競技会(無料競技会であっても第三者による特別協賛または協賛を伴う大会を含む)開催における納付金基準について、特別協賛または協賛を伴う大会の納付金基準として、特別協賛(冠協賛)を伴う場合は3万円、特別協賛(冠協賛)を伴わない場合は無料とする案が再提案された。ガバナンスとしては必要なことであるが、現状開催されている大会が掌握出来ていないこと、主催者側からの抵抗感(負担感)も否めないこと等から、2014年度はいずれも無料として手続きのみを徹底し、まずは現状把握をすることとした。さらに、2015年度以降については、現状把握をした上で、引き続き検討することとした。

<承認>

(9) 大会要項について (庄司理事)

「第14回全国専門学校選抜大会」、「第40回記念 全日本クラブ選手権大会」および「第45回全国ミニ大会」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

**(10) 3x3日本選手権プレ大会の開催について**（吉田(長)理事）

2014年度より開催する3x3日本選手権大会のプレ大会として、1月4日、5日にプレ大会を開催することが提案され、原案通り承認された。

＜承認＞

**(11) 報奨金の授与について**（星専務理事）

「第3回FIBA ASIA U-16男子選手権大会」において3位となり、来年開催されるU-17男子世界選手権大会への出場権を獲得したことについて、報奨金規程に基づき、報奨金を授与することが提案され、原案通り承認された。

＜承認＞

---

**4. 報告事項**

**(1) 一般報告**（堀井理事）

2013年9月の諸会議等の開催実績が報告された。

**(2) 総務部**（堀井理事）

10月19日の北信越ブロックを皮切りに、各ブロックにおいてブロック連絡会を開催していくこと、チーム加盟数・競技者登録数は現状で前年比約98%となっていること、また、前回の理事会で承認された5名の評議員候補者が評議員選定委員会において評議員に選任されたことが報告された。

**(3) 事業戦略部**（吉田(長)理事）

6月28日から30日に行った男女日本代表の国際親善試合について、改めて再度整理し直された収支決算が報告された。また、日本車椅子連盟からの要望やパラリンピックの選手強化事業の所管が来年度から厚生労働省から文部科学省に移管されることを踏まえ、2014年度から7年間、車椅子日本代表チーム(男女)の一部権利をJBA(事業戦略部)にて取り扱うこととなったことが報告された。

**(4) 3x3推進室**（吉田(長)理事）

10月4日、5日にトルコで開催された「FIBA 3x3 WORLD TOUR FINAL」において、日本から出場したチームが8位となったこと、9月21日に行った都道府県協会3x3担当者説明会の概要、また、説明会での意見、要望を受け、①JBA 3x3競技者登録制度、②3x3日本選手権大会および予選大会、③都道府県協会における3x3推進の3項目について都道府県協会にアンケートを実施する予定であること等が報告された。

**(5) 競技会委員会**（庄司理事）

競技日程の一部変更(第3回FIBA ASIA U-16女子選手権大会が11月23日～30日に変更)、11月3日、4日に開催される社会人選手権大会の組合せ、日本スポーツマスターズ、東京国体、FIBA ASIA U-16男子選手権大会の結果が報告された。

**(6) 男子ナショナル委員会**（佐古理事・大神理事）

FIBA ASIA選手権大会について、鈴木ヘッドコーチからの報告、また、それを踏まえた上でのナショナル委員会としての検証、意見が報告された。

また、佐古理事からは9位という成績で期待に応えられなかったことのお詫びがあり、今回の総括、映像、各種データなどをぜひ次につなげて欲しいとの話があった。

次に、大神理事より第3回FIBA ASIA U-16男子選手権大会の報告があり、井手口ヘッドコーチのもと、成熟度の高いチームであり、また大会期間中も日に日に力をつけていったこと、中心選手となった、牧、八村、平岩の各選手は東京オリンピックに向けても期待の持てる選手であることが報告された。

(7) **テクニカル委員会**（佐々木理事）

コーチコミッティー関連では、コーチの海外派遣を計画していること、エンデバー関連では、U-14男女トップエンデバーの実施報告、また今後の活動予定等が報告された。

(8) **国体委員会**（野村理事）

10月4日～8日まで東京国体が開催され、男子の総合成績では、地元東京が優勝したこと、また、来年度の長崎国体に向けては、過去2回の参加選手資格違反を受け、再発防止に向けて予備エントリー制度の導入を検討していることが報告された。

(9) **国際関係**（星専務理事）

FIBA ASIAより9月19日付で2014年度の国際大会の公募があり、今回はいずれの大会も立候補しない方向であることが報告された。また、今後の国際大会の招致については、開催の2年前から国内での開催地の公募、選定を進めていく方針であることが報告された。

(10) **NBL**（丸尾副会長）

NBLの開幕第1節および第2節の結果が報告された。また、入場者数については、目標2,000人として掲げているが、チームによって大きくバラつきもあり、これまでの平均は1,660名となっていることが報告された。

(11) **WJBL**（西井特任委員）

WJBLの所属チームである山梨クィーンビーズがメインスポンサーの事業再編の影響により、来シーズンのリーグ参戦が見送りとなったことが報告された。

また、9月24日付に朝日新聞で報道されたトヨタ自動車の選手登録違反について、その経緯およびWJBLの競技ルールの説明があった。WJBLとしては、現在WJBL内の倫理委員会で審議中であり、10月のWJBL理事会で最終結論が出る予定であること、また、帰化選手枠に関するルールの見直しを早急を実施する予定であることが報告された。

これについて、皇后杯(オールジャパン)の出場資格違反に当たるかどうかの質疑があり、競技会委員会および規律・プレイクリーン委員会で精査することとした。

(12) **その他**（堀井理事）

来シーズンからNBLに参入する広島チームの代表取締役役に就任した伊藤理事について、本来JBA傘下のリーグ加盟チームの代表が理事に就任することは好ましくはないが、今辞退任してしまうと中国ブロック

の代表が空席になってしまうこと、理事の任期は6月までであり、実質的なチームの運営は来シーズンからとなることから、中国ブロックの了承を得た上、任期満了までは引き続き理事を務めていただくこととなったことが報告された。

**(13) その他**（堀井理事）

シャンソン化粧品の若年者移籍に関して、FIBAからの裁定による罰金、補償金の支払いが完了したこと、また、次回理事会に裁定委員会からの答申が提出される予定であることが報告された。

以上